

2020年6月17日(水)第3水曜祈祷会

ルカの福音書8:1~15

「実りある人生」

### ■主と弟子たちに仕える大勢の女性たち（女性の福音書）

・彼女たちの奉仕の特徴

- ①悪霊や病気を治してもらったことの感謝から出る自発的な奉仕
- ②教えを説く(語る)ことよりも、(自分の持てるもので)仕えること
- ③まず救いの恵みを受けることから始まる奉仕(みことばに聴くマリヤ)

・特筆される彼女たちの行動

- ①イエスさまの十字架の死の目撃者(マルコ15:40、41)
- ②イエスさまの復活の最初の証人、報告者(ルカ24:10)
- ③イエスさまの昇天の証人、初代教会の会員(使徒1:14)

### ■蒔かれた種(畑)のたとえ(8:4~8)

- ・道端に落ちた種…人に踏みつけられ、空の鳥が食べてしまった
- ・岩の上に落ちた種…成長したが、水分がなくて枯れてしまった
- ・茨の真ん中に落ちた種…ほかの茨も一緒に生え出て塞いでしまった
- ・良い地に落ちた種…成長して100倍の実を結んだ。大声で言われた！

### ■イエスさまの説き明かし(8:9~15)

- ・道端…みことばを聞いても信じて救われないように、悪魔が来て、取り去ってしまう。
- ・岩の上…みことばを聞くと喜んで受け入れるが、根がないのですぐに身を引いてしまう。
- ・茨の中…みことばは聞いたが、時が経つにつれ、様々なものに塞がれて、実が熟さない。
- ・良い地…立派な良い心でみことばを聞いて、それをしっかり守り、忍耐して実を結ばせる。

### ■今日的な意味

- ・道端…福音を聞いても自分の力に過大評価しているため、福音を受け入れる状態にない。
- ・岩の上…しばらくは信じて、試練や困難があると、すぐに身を引いてしまう。
- ・茨の中…福音を喜んで信じるが、目先の欲望に勝てず、現生的なことに関心が強い。
- ・良い地…先の三つの状態が耕されて、みことばをしっかりと受け入れ、恵みのうちに成長する。

### ◎まとめ:「実りある人生」について

- ・種は神のことば。同じ種でも、蒔かれて落ちた地によって違いが生じる。
- ・「耳のある者は聞きなさい」→聞き方に注意しなさい(18)。福音をどう聞くか…。
- ・私たちの心にも、道端、岩の上、茨の中があるのでは…。みことばにとどまるとは(ヨハネ8:31)…。